

予算決算委員会会議録

1. 開催年月日

令和2年 3月12日 開会 9時58分 閉会 10時38分

2. 開催場所

全員協議会室

3. 出席委員名

妹尾文彦	多賀信祥	柳原英子	山下憲雄
細羽敏彦	西村慎次郎	荒木謙二	柳井一徳
惣台己吉	三宅文雄	藤原浩司	上野安是
竇戸利昭	西田久志	三輪順治	大滝文則
宮地俊則	佐藤豊		

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 坊野公治

(2) 説明員

副市長	猪原慎太郎	総務部長	渡邊聡司
市民生活部長	佐藤和也	健康福祉部長	山田正人
未来創造部長	唐木英規	建設部長	谷本悦久
水道部長	田中伸廣	病院事務部長	田平雅裕
総務部次長	藤原雅彦	市民生活部次長	井口勝志
健康福祉部次長	沖津幸弘	未来創造部次長	田中大三
建設部次長	岡本健治	水道部次長	飛田圭三
芳井支所長	岡田光雄	美星支所長	川上邦和
健康福祉部参与	和田広志	病院事務部次長	一安直人
税務課長	吉本泰人	下水道課長	土屋光史
総務課長補佐	伊藤圭史	介護保険課長補佐	今井保文
商工課長補佐	金政吉伸	上水道課長補佐	丸本健雄
下水道課長補佐	馬越敏晴	市民課戸籍住民係長	岩本陽子
建設課管理係長	武智義仁		

(3) 事務局職員

6. 傍聴者

(1) 一 般 0名

(2) 報 道 0名

7. 発言の概要

委員長（藤原浩司君） 皆さんおはようございます。

少し早いようでございますが、皆さんおそろいであるので、ただいまから予算決算委員会を開会いたします。

本日は、特別会計・企業会計・財産区会計の予算を審査いたします。

審査の順序は、昨年と同様に総務文教委員会、市民福祉委員会、建設水道委員会関係の順で行いますので、よろしく願いいたします。

〈議案第14号 令和2年度井原市大倉財産区会計予算〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第15号 令和2年度井原市東水砂財産区会計予算〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第16号 令和2年度井原市宇戸財産区会計予算〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第4号 令和2年度井原市国民健康保険事業特別会計予算〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第5号 令和2年度井原市後期高齢者医療事業特別会計予算〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第6号 令和2年度井原市介護保険事業特別会計予算〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第10号 令和2年度井原市病院事業会計予算〉

委員（簀戸利昭君） 病床数が180床ということではありますが、現在稼働している病床数は幾らですか。

病院事務部次長（一安直人君） 135床で運用をしております。休棟が30床ございまして、150床での運用ですが、稼働は135床となっております。

委員（簀戸利昭君） なかなか経営自体もかなり厳しい状態ではありますが、今後のインフルエンザ等、新型コロナウイルス感染症はあってはいけません。新型コロナウイルス感染症の対応について少しお聞かせください。受け入れ態勢があるのかなのか。指定病院としたら岡山県では3病院ですか、4病院ですか。近隣では福山市民病院ということですが、対応ができるのかできないのか、お聞かせください。

病院事務部次長（一安直人君） 電話等で問い合わせがあった際には、帰国者・接触者相談センターのほうへ電話をするように申し伝えております。帰国者・接触者相談センターのほうから当院が紹介されますと、当院で診察を受けることとなります。検査をいたしまして、仮に重症になるとすれば、またその医療機関のほうへ転送するような格好になります。うちのほうでは治療までは考えておりません。

委員（簀戸利昭君） 帰国者・接触者相談センターから紹介があるということですが。入院については、対応ができないということなんでしょうか。それともその帰国者・接触者相談センターのほうから、仮にですが指定病院が受け入れの病床数が足りないというようなことがあって、井原市民病院でも受けてくれないだろうかという話になったときには、その対応ができるという理解でよろしいでしょうか。

病院事務部次長（一安直人君） まだその時期には達しておりませんが、そういう場合にはなりましたら受け入れる態勢は整えております。

委員（大滝文則君） 新聞にも載っていたかと思うんですけども、令和元年度の市民病院

の経営状況、この予定損益計算書等々を見ると、非常に厳しい状況下にあるかと思うんですけども、これをつくられたときと現時点との動向といいましょうか、それについて今後も非常に厳しいのか、ここへ想定されている同年度の損失どおりぐらいの見通しなのか、まだ悪化するのか、ちょっと好転するのか、そのあたりの見通しはどうでしょうか。

病院事務部長（田平雅裕君） 令和元年度の経営の見通しでございますが、7、8、9月が大変厳しい状況にございました。年が明けまして、1月、2月と大分回復はしてきております。しかしながら、昨年度のような満床状態には至っておりませんが、一時期よりは回復の傾向にございます。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第7号 令和2年度井原市産業団地開発事業特別会計予算〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第8号 令和2年度井原市美星地区畑地かんがい給水事業特別会計予算〉

委員（簀戸利昭君） 何年か前に畑地かんがいの料金を値上げしたということですが、本会議でも多分言われたと思うんですが私が聞き逃していたので、面積と戸数がわかればお教え願います。

美星支所長（川上邦和君） 受益面積は、220ヘクタールで見込んでおります。それから、受益戸数につきましては、1,021戸で見込んでおります。なお、本年度9月末現在では、受益面積が225.3ヘクタール、それから受益戸数は1,037戸でございました。

委員（簀戸利昭君） ありがとうございます。それと、電気料がかなりかかっているのかなと思うんですが、そこらあたりは、受益者の方にご負担をお願いしないといけない部分がほとんどだと思うんですが、電気料を下げる方法はないのかどうなのか。かなりの馬力数で貯水池というかそこへ上げて、それを畑かんに使われているとは思いますが、そこらあたりはいかがでしょうか。

美星支所長（川上邦和君） 電気料を下げる方策ということでございますが、今契約をしておりますのは中国電力でございます。ほかにも探したわけですが、そこが一番安いということでありました。また、発電とかほかの方法も検討いたしました。いいものがないということでございます。ただ、昨年幹線の流量調査を行いました。歩いて幹線を調査したわけでございますが、それによって漏水等を発見して、本年度は昨年度より大幅に電気料が削減できている状況でございます。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第9号 令和2年度井原市水道事業会計予算〉

委員（多賀信祥君） 以前、断水をした場合の対応について伺ったんですが、水道管の老朽化で断水があって補修をされる金額と同じ距離を更新をする金額っていうのは、やはり突発で補修をされるほうがその工事費というのは高くなるんでしょうか。

水道部次長（飛田圭三君） 修繕の場合は、管を部分的に修理いたしますので、管路を延長何メートルかを更新するよりも安いという状況です。

委員（多賀信祥君） 最近の何年かの傾向で、老朽化で破損をして修繕が必要になるもの

は、傾向としてはふえてきているのでしょうか。

水道部次長（飛田圭三君） 漏水の状況につきましては、管が老朽化することによって当然漏水の件数もふえてくる傾向にはありますが、それに対して事前に市の職員等で漏水等の調査を行うことによって、最小限の被害に食い止めておる状況です。

委員（多賀信祥君） 傾向としてはふえてきているんですか。

水道部次長（飛田圭三君） 最近では、横ばいという状況でございます。

委員（宮地俊則君） 今回のことに関連するかもしれませんが、かつて上水道が全国的に普及して布設が進み、そしてまたその更新時期が全国的に集中してきているようで、それでまたそういった老朽化による破裂とかで大きな問題になっているのが多々見受けられるわけですが、本市においても老朽管を更新する時期が来ておるようにも思われます。特に漏水などによる漏れですが、有収率向上のためにも漏水は必要最小限にとどめていく必要があるかと思えます。本年度予算についても1億2,200万円の配水管の布設がえ工事費がついておりますけれども、本市においてその全体的に見まして、その布設がえが追いつているのかどうか、この当初予算においてもどれぐらいの必要なものに対する工事ができるのか、そのあたりをポイントとしてお尋ねしたいと思います。それから、現状と今後の見通し、それも含めてお尋ねしたいと思います。

水道部次長（飛田圭三君） 現在の下水道の管路につきましては、昭和43年の給水開始から昭和55年の第2次拡張ごろにまで水道施設の大部分を整備しております。下水道の管路総延長ですが、約368.2キロメートルございます。このうち、管路の更新率でございますが、平成30年度末、法定耐用年数が過ぎた管路でございますが、こちらが約210キロメートルございます。このうち、昭和61年ごろから平成30年度末までに管路の布設がえ工事を約57.5キロメートル更新工事を行っており、更新率は15.6%という状況でございます。また、これとは別に公共下水道事業、こちらによりまして水道管の移転工事を行っており、その大部分が更新されている状況となっております。今年度の布設がえの工事の予定でございますが、下水道のほうで約1.3キロメートルを予定している状況でございます。

委員（宮地俊則君） 今年度で1.3キロメートルですか。更新が210キロメートル、57.5キロメートルほどは済んでいるということですが。先ほどお尋ねした中にもありましたけれども、今、年次的にそういう取り組みをされているのは重々わかるんですが、本市としてその更新工事が追いつているのかどうか、先ほどもお尋ねしたんですが、そのあたりの見通しというのはいかがでしょうか。全然追いついていないのか、更新時期に合わせてほぼ更新ができていっているのかどうか、そのあたりをお尋ねします。

水道部次長（飛田圭三君） 先ほど耐用年数が過ぎたものが210キロメートルで、更新

工事を行ったものが57.5キロメートル、プラス公共下水道工事によって布設がえをしたものがあると申し上げましたが、追いついているか追いついていないかといえば、まだ更新ができていない部分がございます。この更新工事につきましては、費用負担が当然でございます。もし許されるならば、無尽蔵な事業費をつぎ込めば更新は可能ではございますが、水道事業は水道料金によって経営をしておりますので、やはり年次計画的に整備をしていく必要があるかと思っております。追いついていけないところにつきましては、先ほど申し上げましたが、早い時期での漏水調査によりまして被害を最小限にとどめるよう努めたいと考えております。

委員（宮地俊則君） 今言われた事情はよくわかります。無尽蔵に使うことにはならないこともよく理解できます。そういった中で、漏水というのは非常に損をするといえますか、非常に率が高いのが随分わかります。そういった意味で、水道事業の有収率を向上させる意味も、できる限りの、ご努力されていると思っておりますけれども、今後とも漏水を最小限に抑えていただくようにとどめていただきまして、更新のほうをよろしくお願ひしたいと思っております。

委員（上野安是君） 先ほど更新の長さが、1.3キロメートルという予定だということがありましたが、これはもともと1.3キロメートルを、その場所も含めて最初から予定しているのか、それとも先ほど言われたような漏水の箇所を発見したことによって、それが1.3キロメートルぐらいなんだという話でしょうか、どちらでしょうか。

水道部長（田中伸廣君） 水道事業としましては、収入における投資の効果を考慮しながら、1年に大体2キロメートルの更新をしていくという計画のもとで、漏水多発路線及び老朽化した管路の更新を計画的に行っている状況にあります。

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第11号 令和2年度井原市工業用水道事業会計予算〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第12号 令和2年度井原市簡易水道事業会計予算〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第13号 令和2年度井原市下水道事業会計予算〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（藤原浩司君） 以上で付託案件の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長にご一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

委員長（藤原浩司君） 閉会に当たり、執行部で何かございましたらお願いいたします。

副市長（猪原慎太郎君） 予算決算委員会の閉会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、2日間にわたりまして慎重にご審議をいただきまして、まことにありがとうございました。

令和元年度一般会計補正予算並びに令和2年度一般会計予算におきましては、修正案の提出をいただいております。ホテル・旅館誘致等促進事業補助金につきましては、事業者それから具体的な場所が決定していない段階での予算要求に対する問題点、さらには新型コロナウイルス感染症の影響によります宿泊需要のこの先の不透明感、そういった中での予算要求に対する問題点、それから事業承継推進奨励金につきましては、制度設計や運用に対する数々の問題点をご指摘いただいております。井原市議会としてのご決定につきましては、執行部を代表するものとしまして、この上なく重く受けとめております。そのほか、認めていただきました予算につきましては、最大限の投資効果が得られますよう、タイムリーな執行に努めていきたいと思っております。

気がつけば、もう3月も中旬となつてまいりました。暖かい日が続いたかと思えば冷え込んだりと、なかなか気温が安定しておりませんが、皆様方におかれましてはくれぐれもお体をご自愛いただきたいと思っております。

なお、来週の閉会日におきましては、追加議案並びに全員協議会をお願いしておりますので、引き続き慎重なご審議をお願いしたいと思います。

本日はまことにありがとうございました。

〈議長あいさつ〉

委員長（藤原浩司君） 以上で予算決算委員会を閉会いたします。